

緊急広報

栃木市内で特殊詐欺被害発生中

◎市役所職員や金融機関職員を名乗り、「保険料が戻る」などと言ってキャッシュカードを提出させたり、警察官を名乗り、犯罪捜査の名目で金銭（現金、暗号資産、金地金など）を提出させるなどの手口の特殊詐欺被害が発生しています。

『大丈夫、自分はだまされない』
いいえ、誰でも被害者になり得ます！！

- ※ 特殊詐欺の電話は、栃木市内に毎日かかっています！
- ※ ターゲットは高齢の方だけではありません！
手口はどんどん巧妙化！若年層でも被害者に！
- ※ 被害の8割は電話から始まっている！（誰にでも被害の可能性が）
- ※ 最近では、「+」（プラス）から始まる国際電話番号を使って電話をかけてくる手口や、警察官を名乗り、ネットワークアプリ（SNS）のビデオ通話で偽の警察手帳や逮捕状を見せ、「あなたが容疑者になっている」「資産を調べる必要がある」などと言って金銭を提出させる手口（ニセ警察詐欺）が急増しています！

《だまされないためには》

- ◎ 市役所職員や金融機関職員、警察官が、金銭やキャッシュカードの提出を求めたり、暗証番号を聞き出すことは絶対にない！
- ◎ 警察官が、アプリ（SNS）で連絡を取ること、ビデオ通話で警察手帳や逮捕状を見せたり、取り調べをすること、金銭を要求することは絶対にない！
- ◎ 「+」から始まる国際電話番号から着信があったら、詐欺！
- ◎ 常に、「詐欺かもしれない」を頭の片隅に！（詐欺を疑う意識を持とう！）
- ◎ 「お金、カード」の話が出たら詐欺！（どんな手口も必ず「お金」の話になる！）
- ◎ 詐欺の手口を知っておこう！（「この話…サギだ！」と気付けます！）
- ◎ 1人で判断せず、必ず誰かに相談！（犯人は不安・困惑させる話をしてくる！）
- ◎ 固定電話の場合、着信時に警告音声流れ、通話内容を録音できる「特殊詐欺対策機器・防犯電話機」の設置が有効です！【市にも機器の貸出制度があります】